

上ノ録出セリ

本労働會本部、松岡駒吉等、登議ヨリ、這回爭議解決
徑路ハ會社、大株主、日本郵船會社重役等ニ懇
願シ盡力ヲ仰カニ如カス、右松岡、福岡、金沢郎等指
導下ニ職工二百名、爭議本部ヲ登レ正午、海岸通
ニ日本郵船横濱支店門前ニ到ルヤ、松岡ハ群集ヨリ
靴ニ直ニ上京シ福岡代ヲ指揮シ齋藤健一外三人ヲ
職工代表ニ選ミ、全會社重役ニ會見ヲ求メ會社側ヲ
上村副長外五名ト應接所ニ於テ約一時間半交渉會
談ヲ爲シタルカ、其間職工等ハ門外ニ休憩シ不穩ノ形勢ナ
ク、午後二時全社ヲ引揚ゲタリ

右引揚ノ途中、四名ノ交渉委員ハ更ニ船渠會社ニ
再交渉ヲ試ムヘク出架セシニ約二百ノ職工モ之ニ隨從シ會

社附近ヲ徘徊セル罷業職工モ加ハリ約三百名、同門前
ニ殺倒シ盛ニ氣勢ヲ煽リ労働歌ヲ合唱シ約五十名ハ會
社事務室ニ押ハラントシ、警戒員ニ阻止セラレ代表者伊藤
正義、齋藤健一外三名、大門重役ニ會見ヲ申込タリ

午後四時前記委員ハ寔ニ事務、東條常務ノ兩取
締役ト會見セリ、門外ノ職工團ハ時々労働歌ヲ高唱
シ、氣勢ヲ添ヘントスルヨリ、警戒員ニ於テ退散ヲ命シタルニ約半
數ハ本部ニ引揚ケ、其他ハ靜肅ニ待受ケタリ

代表者交渉ノ結果、會社側ハ、十月三日ニ回答スルニ
ニ決シ約廿五分ニシテ退出シ、爭議本部ニ引揚ケ、同夜
本部ニ於テ齋藤健一ヨリ交渉顛末報告演説アリ、同時
ニ左ノ決議ヲナシ、係員中委員八十名居残り、他ハ漸次
解散セリ